

第44回 まつばら市民まつり 「縁日」でポリオ撲滅募金の活動を展開

松原中ロータリークラブ

松原中ロータリークラブ(会長 宮本 信宏)は、平成30年8月4日～5日、松原中央公園等で開かれた第44回まつばら市民まつりにクラブ奉仕地域委員会(委員長 山本 博美)が中心となって「縁日」の出店を行い、ポリオ撲滅募金の活動などを展開しました。

恒例のパレードで幕を開けた第44回まつばら市民まつり。中央公園や松原市文化会館、市民体育館前などで、盆踊りや縁日など様々なイベントが開催され、家族連れなど多くの人が真夏の2日間を楽しみました。松原中ロータリークラブも、地域社会の活性化に貢献すべく、市民まつりの実行委員会の構成員として、毎年参加し、「縁日」の出店をしています。今年もフランクフルトと飲料水の販売を行うほか、スイカ割大会を催し、スイカを無料にて振舞いました。

また、当RCメンバー以外にも、ボランティア活動を学ぶ場として、松原高校インターアクトクラブのメンバーにお手伝いをして頂きました。

特に、「縁日」では、市民の皆様にはポリオ撲滅活動について説明し、支援のため寄付を募り、沢山の方々にご賛同賜り、計19,139円の寄付を戴きました。このほか、啓発活動として、ポリオバナー(ジューディ・オング)・ポスターを掲示するなど、理解と協力を呼びかけました。

松原市では、平成14年3月に「松原市安全なまちづくり条例」を制定し、市民が安心・安全に生活できる住みよい地域社会の実現を目指し、行政と多くの地域団体が連携して活動を行ってきました。様々なアイデアを出し合い、ルールを決めながら市民団体、企業、行政がひとつになって、取り組まれるこの市民まつりは、「市民による市民のための手づくりの夏祭り」として松原市の夏の風物詩となり、例年およそ2万人の市民が来場しています。

